

東日本大震災復興関連事業チェックシート
(平成23年度第3次補正予算)

(厚生労働省)

事業名	東北発革新的医療機器創出・開発促進事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度・平成27年度		担当課室	研究開発振興課		佐原 康之		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-6 新医薬品・医療機器の創出等を促進するとともに、医薬品・医療機器産業の振興を図る				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 革新的な医療機器の創出及びそれに伴う企業誘致・雇用創出 ○ 地域住民に対する最先端医療を受ける機会の創出 							
事業概要(5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東北発の革新的医療機器等について医師主導治験等を医療機関で実施するための助成金を交付するとともに、その進捗管理、指導・助言を行う。 ○ 医療機器のレギュラトリーサイエンス研究を推進する。 							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
23年度予算額(単位:百万円)	当初	第1次補正	第2次補正	第3次補正	計			
				4,320	4,320			
成果目標(アウトカム)	成果指標	単位	目標値		活動指標(アウトプット) <small>※上段()書きは予算措置の累積に係る見込み</small>	活動指標	単位	23年度活動見込
			23年度	(27年度)				
単当たりコスト	480(百万円/件)		算出根拠	4,320百万円 / 9件 = 480百万円/件				
事業所管部局による点検								
項目				内容				
「復興への提言」及び「東日本大震災からの復興の基本方針」で示された諸原則や施策の考え方との整合性がとられているか。				○「東日本大震災からの復興の基本方針」の5(3)①(iv)と整合性がとれている。				
被災地のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。				○被災3県が強みを持つ技術分野を活かした医工連携プロジェクトであり、3県の産学官関係者のニーズが高い事業である。				
効果的な事業であるか(より高い効果をあげる手法の選択、類似事業等との役割分担、客観的な将来見通しなど)。				○被災3県の医療機関、大学、企業が連携して取り組む事業であり、医療機器の実用化を通じて雇用創出をもたらすものである。				
費用対効果や効率性の検証が行われたか。				○開発された医療機器の実用化にあたり治験は、人への安全確認を含めて必要不可欠なものであり、その額も妥当である。				
国、自治体、事業実施者、民間等の役割分担などのあり方は明確か。				○制度を設計する国、現場ニーズを的確に把握し事業を管理する県及び治験等を実施する医療機関・大学等、それぞれの役割は明確である。				
他の事業と整合的で、計画的に実施されるものとなっているか。				○被災3県に対する優先的な措置と連動する計画的な事業であり、税制措置(経産省)等とも整合をとりつつ実施する事業である。				
事業の迅速な着手・執行が可能であるか。事業の執行などの透明性が確保され、進行管理が適切に行われるようになっているか。				○被災3県と協議を重ねるとともに、計画の妥当性を確認することとしている。またプログラム・ディレクターを配置し、事業の進捗を管理する体制を確保する予定である。				

注1. 「活動指標(アウトプット)」欄の「活動見込」については、23年度第3次補正予算に係る分について記載すること。なお、既に成立している23年度予算(第2次補正予算を含む。以下同じ)若しくは23年度予備費で措置している事業の追加措置の場合については、上段カッコ付で累積の見込みを記入すること。

注2. 「単当たりコスト」欄については、23年度第3次補正予算に係る分について記載すること。なお、既に成立している23年度予算若しくは23年度予備費で措置している事業の追加措置の場合については、上段カッコ付で「(23年度1次補正 ××円/)」などと記入すること。

注3. 「内容」欄には、すべての点検項目毎に点検の結果及び方法、これらの客観的な根拠について具体的に記入すること。